

平成22年九州・山口県沖における外国漁船取締活動の概況について

1. 拿捕件数 16 (13) 件 (カッコ内は平成21年の件数)

○ 船籍・漁業種類別内訳

韓国漁船 13 (12) 件

はえ縄 7 (10) 件

いか釣り 2 (2) 件

まき網 3 (0) 件

刺し網 1 (0) 件

中国漁船 1 (1) 件

底びき網 1 (1) 件

台湾漁船 2 (0) 件

刺し網 2 (0) 件

○ 違反内容別内訳

(違反内容の重複があるため延べ件数)

無許可操業 4 (1) 件

操業水域違反 2 (0) 件

漁具規制違反 0 (2) 件

立入検査忌避 1 (0) 件

操業日誌不実記載等 8 (8) 件

許可不表示 1 (0) 件

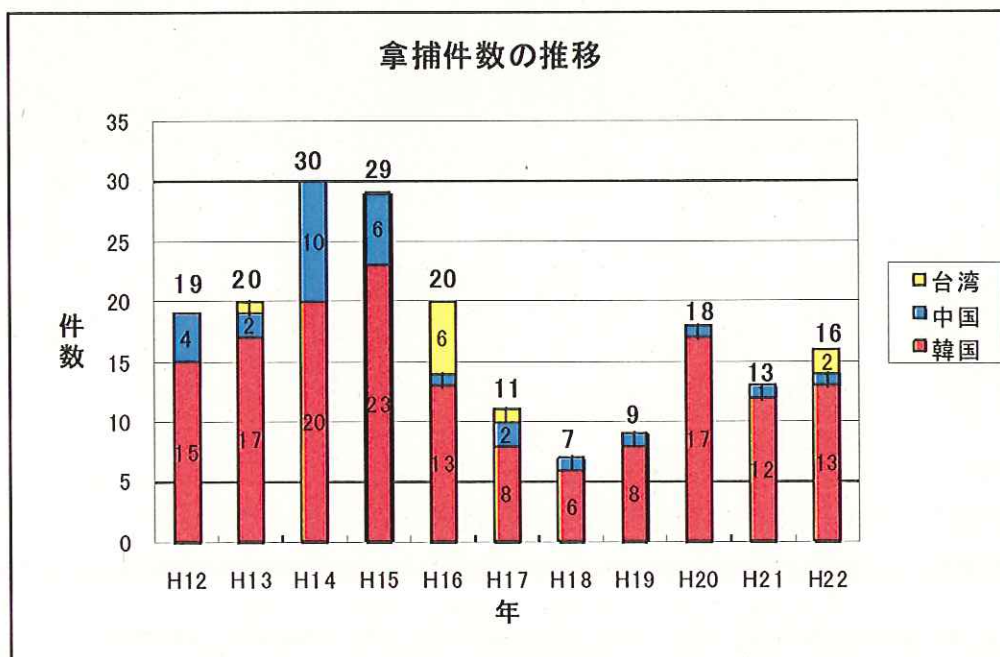
操業日誌不保持等 0 (2) 件

無許可で操業する韓国刺し網漁船
(平成22年7月22日、無許可操業により現行犯逮捕)

我が国排他的経済水域(EEZ)において操業する外国漁船の拿捕件数は、平成14年をピークとして、減少傾向にあったが、平成19年以降は増加に転じ、平成21年は13件と減少したが、平成22年は16件となった。

船籍国別にみると、16件のうち13件が韓国漁船の違反であり全体の8割以上を占めている。また、5年ぶりに台湾漁船の拿捕が2件あった。

違反内容を見ると、無許可操業及び操業水域違反といった悪質な違反が6件(前年1件)と増加し、我が国の操業許可を受けた韓国漁船が操業日誌にタチウオ等の漁獲量を過少記載するなどしていた違反(操業日誌不実記載、操業日誌不記載)は8件(前年8件)であった。今後とも、我が国の操業許可を受けた外国漁船の違反を減少させるべく、立入検査等を強化していく必要がある。



2. 漁具押収件数 7 (10) 件 (カッコ内は平成20年の件数)

○ 船籍・漁業種別内訳

韓国漁船	7 (10) 件
たこ籠	4 (3) 件
あなご筒	1 (1) 件
刺し網	1 (5) 件
はえ縄	1 (0) 件
パイ籠	0 (1) 件
中国漁船	0 (1) 件
底びき網	0 (1) 件
台湾漁船	0 (1) 件
はえ縄	0 (1) 件



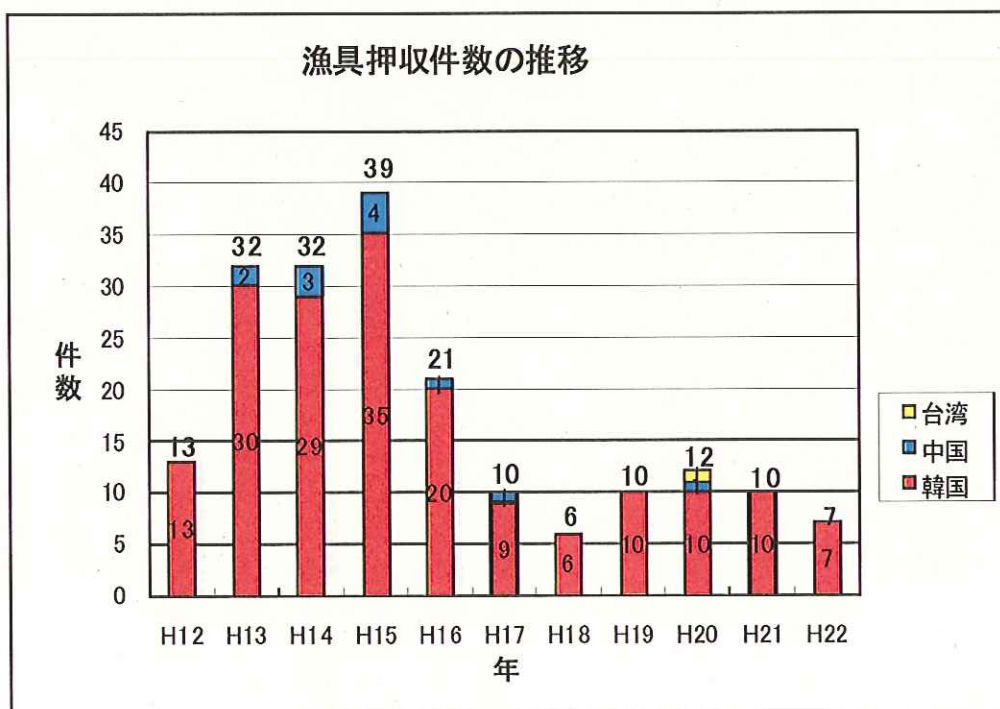
押収漁獲物(主にミズダコ)

韓国たこ籠漁具の押収作業 (平成22年4月20日)

押収した漁具の殆どが、我が国EEZでの操業が認められていない韓国たこ籠漁船及び刺し網漁船が敷設したものであった。

韓国たこ籠漁具の押収件数は4件(前年3件)で、漁具の押収数量は籠135個、漁獲物(ミズダコ他)199.9キログラムであった。

また、韓国刺し網漁船、韓国あなご筒漁船及び韓国はえ縄漁船による密漁漁具の敷設もそれぞれ1件発生しており、依然として監視の隙をついた韓国漁船による違法操業が続いている。



3. 逃走・追跡件数 2（2）件（カッコ内は平成21年の件数）

○ 船籍・漁業種類別内訳

韓国漁船 1（2）件
 大型トロール 1（1）件
 あなご筒 0（1）件
 中国漁船 1（0）件
 はえ縄 1（0）件

取締船が立入検査を実施する等のために停船命令を発したものの、これに従わずに逃走した漁船を追跡した件数は、韓国漁船と中国漁船による2件であった。

韓国漁船は、無許可の大型トロール漁船であり、船名を隠蔽し、我が国EEZ内を航行中のところを取締船に発見され、停船命令を発したところ逃走した。

中国漁船は、はえ縄漁船であり、夜陰に紛れ操業しているところを取締船に発見され、漁具を切断して逃走したものである。

こうした案件については、外交ルートを通じて旗国政府に抗議を行う一方、我が国EEZ操業許可船の場合には許可取消等の行政処分を行うなど、引き続き粘り強く取り組んでいく。



立入検査を拒否して逃走する韓国大型トロール漁船、左舷側外板の黄色は着色弾が命中した跡（平成22年1月23日）

